



# あたる子

～優しい子・元気な子・賢い子～

## 1学期、終業式

4月6日始業式、8日入学式からスタートした1学期も、本日、終業式を迎えました。今年度も、新型コロナウイルス感染症予防のために、手洗い・うがいやマスク着用など、「新しい生活様式」を守りながら過ごす日々でしたが、行事や活動などをほぼ予定どおりに実施することができました。子供たちの頑張りや保護者の皆様の御理解と御協力、そして地域の皆様の御支援により、無事に1学期を終えられたことに心から感謝いたします。

終業式の講話では、子供たちと共に1学期を振り返りました。1年生を迎えた歓迎遠足や全校児童が笑顔となった運動会、各学年の校外学習などは、子供たちの楽しい思い出となっています。同時に、日々の授業や家庭での学習の頑張りにも触れ、分からないことが分かるようになったこと、できなかったことができるようになったことも、忘れられない思い出となっているはずだと話しました。

夏休みにも、自信を持って、様々なことに挑戦をしてほしいと思い、「作る」をテーマに頑張ってもらいたいと話しました。特に高学年の子供たちには、自分の計画を自分から実行し、充実した夏休みを自分で作ってほしいと思います。低学年の子供たちには、御家族の御協力をお願いいたしますが、できるだけ自分たちでやらせてください。

児童代表の言葉は、5年生の角野蓮さんと緒方帆希さん、3年生の河平勝利さんでした。角野さんは、1学期に道徳の学習や放送委員会の仕事、水泳の練習を頑張ったこと、そして夏休みには、バスケットボールや宿題を頑張りたいと発表してくれました。SDGsにも取り組むというところもすばらしかったです。緒方さんは、1学期に挨拶を頑張ったことや2学期には勉強を頑張りたいと発表したいという決意を述べてくれました。他にも、相手を思いやり信頼される人になりたいという言葉に、高学年らしさを感じました。沖縄に転校する河平さんは、愛宕小学校で友達と遊んだことや運動会での思い出とリコーダーや水泳の練習を頑張ったこと、そして、転校しても頑張りたいと思いを込めて発表することができました。

画面越しに見える各学級の子供たちの様子も大変すばらしく、しっかりと話を聞いたり返事をしたりできるようになっていることがとてもうれしかったです。

式の最後には、久しぶりに元気な校歌を聞くこともでき、感激の終業式となりました。

\* N I B「あさじげZ」から、取材のお礼として番組ステッカーを頂き、配付しました。御協力、ありがとうございました。

## 自分たちで作る、愛宕小学校

愛宕小学校児童会は、自分たちの力で学校を良くしようと、代表委員会で話し合いをしたり、決まったことを実践したりしています。

5月には、「愛宕小学校を良くするスローガンを決めよう」という議題で話し合いをして「元気いっぱい 笑顔いっぱい 思いやりのあたる愛宕っ子」というスローガンを決め、玄關に大きな文字で掲示しました。そして、「山びこあいさつ」に取り組み、6年生を中心に朝の挨拶運動を進めています。

また、6月には、「雨の日の過ごし方を考えよう」という議題で話し合いました。雨の日の様子を反省し、改善策を出し合いました。声の大きさを考える、小さい声で注意をする等の意見が出る中、落ち着いた音楽を流す、折り紙やタブレット、読書などをするということが決まりました。音楽は放送委員会が担当し、図書委員会も低学年に読み聞かせをすることになりました。その結果、雨の日に落ち着いて過ごせるようになり、騒いだりけがをしたりすることがなくなりました。

自分たちで考えて動くということは、本当にすばらしいと思います。2学期の活動に、大いに期待しています。

## 地域の皆様、ありがとうございました

1学期、地域の皆様にも大変お世話になりました。子供たちの安全を見守ってくださった補導員や青色パトロール隊の皆様。家族の見送りや散歩をしながら、掃除や水やりをしながら登校を見守ってくださった方々。金曜日と木曜日に御指導くださったパワーアップ教室の地域の先生方や学生の皆さん、大変お世話になりました。他にも、贈り物を下さった方々もいらっしゃいました。皆様、本当にありがとうございました。夏休みには、子供たちが地域に戻ります。どうぞよろしく願いいたします。



【七夕人形（剛力様から）】



【紫陽花と菖蒲（若杉様から）】